

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	(1)	78.2	2	(1)	77.2	3	(1)	74.6	4	(1) ①	※
	(2)	12.9		(2) アルミ	29.3		(2)	91.2		② 金星	29.7
	(3) a	48.4		鉄	30.6		(3)	39.3		火星	57.7
		b			36.9		(3) ① a	38.5		(2) ①	62.9
		c			40.3		b	94.8		②	47.1
	(4)	32.7		(4)	12.2		c	90.3		(3)	69.1
	(5)	64.7		(5)	0.5		②	58.8		(4)	55.9
	(6) ① a	16.0		(6)	0.2		(5)	73.6		(5)	49.5
		b	66.7	(8)	64.4			(6)	34.2		
	② 鏡	70.0						(7)	61.0		
床	23.2						(8)	67.1			

合格者最高点 64
合格者最低点 24

1 (物理分野) 鏡に関する問題です。

- (1) 得点してほしい問題です。
- (2) アを加えてしまっている答案が多くありました。
- (3) ~ (6)

鏡像を考える場合、作図すると分かりやすいでしょう。無解答は (3) ~ (5) まではごく少数でしたが、数値を答える (6) では 2 割程度いました。

2 (化学分野) 金属の構造に関する問題です。

- (1) 容器が何でできているのかを表すマークなど、身近なところに理科に関わるものがたくさん存在しています。「イ」を答えてしまった答案が若干数見受けられました。
- (2) , (3)
落ち着いて考えられれば答えを出せた受験生はもっと多かったことと思います。限られた時間の中で、このような問題にも 3 割の受験生が対応できていることが嬉しいです。
- (4) 図を描く問題に戸惑った受験生もいたことと思いますが、3 割を超える受験生が正解できていました。球の半径が辺の 4 分の 1 程度の長さであること、球と球が接するように描けているかを見ました。
- (5) ~ (7)
問題文や図で与えられている情報を元に考え、できるだけ早く正確に計算する力が必要です。半数近くが無解答でした。
- (8) 金属内で熱が伝わっていることが説明できていれば正解としました。試験では、難しい問いばかりが続くわけはありません。(5) ~ (7) の難しさに負けずに、6 割を超える受験生が (8) に正答できていました。

3 (生物分野) 生物のからだに関連した問題です。

- (1) , (2)
正解してほしい問題です。
- (3) 色素が水よりエタノールに溶けやすいという記述があれば 4 点としました。そこに加えて「葉をやわらかくする」など誤ったことが書かれていた場合は、2 点減点しました。
- (4) 動物の血液に関する問題です。血球の名称ではどの受験生もしっかりと得点できていました。
- (5) よくできていました。正答の次に多かった答案がイでした。イは吸水による現象です。

4 (地学分野) 太陽系の惑星に関する問題です。

- (1) ① 問題文に誤りがあったため、受験生全員に対して、解答の内容に関わらず、この設問の配点である 1 点を得点といたしました。なお、この措置による第 2 回入試及び繰り上げ合格の可否の影響はありませんでした。今回の事態が生じたことを、深くお詫び申し上げます。今後このようなことがないよう、全力で努めて参ります。
- ② 半年後の天体の位置を考え、見える様子を考える必要があります。
- (2) ばねばかりの示す値は場所によって変わります。上皿天びんの示す値はどこで計測しても同じです。
- (3) よくできていました。
- (5) , (6)
多くの受験生が、アとイの 2 択にまでは絞れていました。

- (7) 多くの受験生が、ウとエの2択にまでは絞れていました。過去に聞いたことがあれば選びやすかったと思います。また、既知ではなくとも、(5)と(6)から動いているのは「天」ではなく「地」球だと気がつけば正解を選べたかもしれません。
- (8) 2022年にも、新聞やテレビなどで何度か話題にあがることがありました。最新の情報にもアンテナを張っていてほしいと思います。